

自然・食文化・伝統文化・農山村交流などの 体験等を通じた、都市との体験型交流

南会津-6

布沢周辺地区

只見町

南会津建設事務所
計画期間：H17～H18/H23～H28

地域づくりの方針

森林の分校「ふざわ」を拠点に、周辺の自然・歴史文化等資源の保全・活用・再生・連携を図ります。

主な事業内容

恵みの森へのアクセス向上を図るため、

交通安全施設、道路拡幅

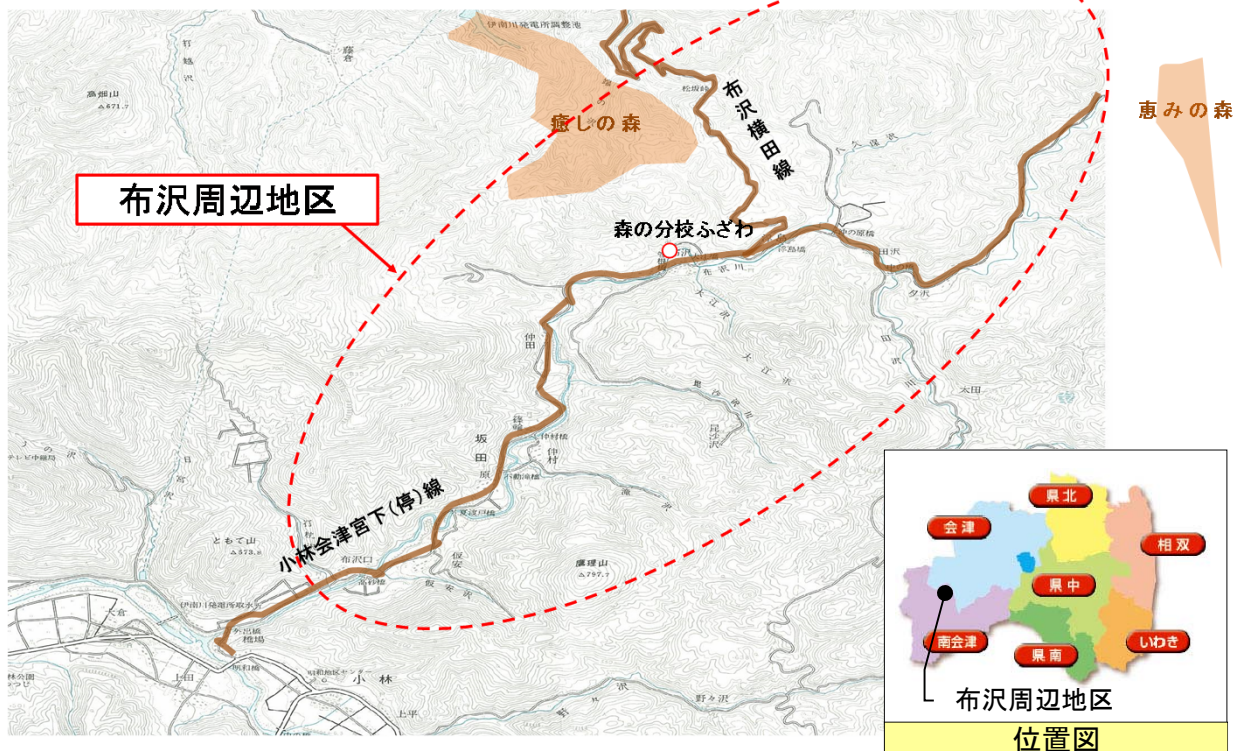
などを行いました。

癒しの森を訪れる観光客の増加を目指し、

バスの回転場を整備しました。



事業概要図



地域の現状

南会津郡只見町は、只見川・伊南川などの清らかな流れと豊かな森林資源に恵まれ、四季の移り変わりが美しい緑と水の郷であり、都市との交流を進めるなど、新しい只見町の創造を図ろうと様々な取り組みを進めています。

一方、過疎・高齢化が顕著な地域であり、地域資源を活用しながら、継続的に地域づくりを進めることが課題となっています。今後、さらなる都市との交流を多面的に進めていくうえで、大小の地域資源を保全・活用しながら、地域の活動を支える取り組みが求められています。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・区役員、NPO法人「只見ぶなの木倶楽部」、街、県などによるワークショップを開催。
- ・地区代表者との懇談会の開催

平成17年

- ・只見恵みの森前バス回転所、アクセス道路にて舗装工、駒止ブロック工を実施。
- ・WSにて小林会津宮下停車場線の現地調査を実施懇談会の開催。

平成18年

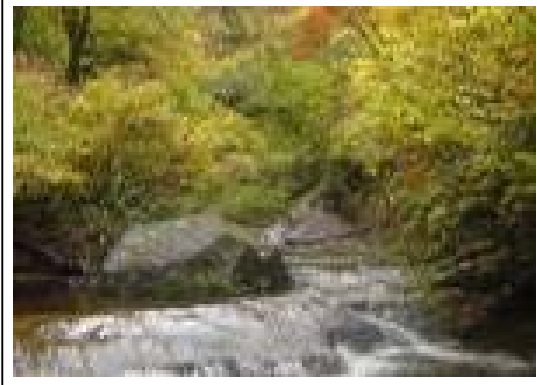
- ・小林会津宮下停車場線小林地内にて小規模改良工、夕沢地内にて安全施設工、排水工を実施。また、地元集落機関誌「やまびこ」に当事業の記事が掲載される。

平成25年

- ・癒しの森前バス回転場整備工事を実施。
- ・布沢横田線1.5車線の整備計画策定のため懇談会を2回実施。

元気づくりの立役者たち

恵みの森



恵みの森



地域の課題・今後の展望

恵みの森や癒しの森入山者及び分校利用者も多く訪れており、本事業が地域資源を活かした地域振興に大きく寄与していますが、ツアーなど大型バスで訪れる際、大型車両のすれ違いが困難な箇所がまだあることから、さらなる整備促進が求められています。

整備内容及び利用状況

バス回転場整備



施工前



施工後

舗装及び駒止ブロック整備



施工前



施工後

利用状況

・癒しの森及び恵みの森の年間入山者は、東日本大震災震災の影響により入山者数が一度落ち込みはしたものの、現在は震災前の水準に戻っております。

■恵みの森

H17 1,500人
H18 2,500人
H19 2,800人
H20 2,500人
H21 3,000人
H22 3,800人
H23 109人
H24 254人
H25 3,800人

■癒しの森

H19 1,300人
H20 2,500人
H21 2,800人
H22 3,100人
H23 550人
H24 1,500人
H25 3,200人

関係機関

- 福島県 南会津建設事務所 企画調査課
- 只見町環境整備課
- 布沢行政区

TEL : 0241-62-5322

TEL : 0241-62-8046